

2017年 冬(12月～2月)の天候経過

平成29年3月1日
新潟地方气象台

1. 北陸地方の今冬(12月～2月)の特徴

【昨年に引き続き、暖冬・少雪。寒気の影響は弱く、冬型の気圧配置は長続きしなかった。】
 低気圧や冬型の気圧配置の影響で曇りや雨または雪の日が多かったが、移動性の高気圧に覆われて晴れた日もあった。1月中旬から下旬前半にかけてと、2月上旬後半から中旬前半にかけては一時的に冬型の気圧配置が強まり、山沿いや山地を中心に大雪となった所もあったが、各月とも少雪だった。
 気温は、12月、1月はともに高く、2月は平年並だった。3か月平均では高かった。
 降水量は、12月、1月、2月はともに平年並だった。3か月合計では平年並だった。
 日照時間は、12月、1月ともに多く、2月は平年並だった。3か月合計では平年並だった。
 降雪量は、12月はかなり少なく、1月、2月はともに少なかった。3か月合計では少なかった。

2. 3か月平均(合計)と月別の平均気温・降水量・日照時間・降雪量の平年差(比)と階級

北陸地方平均	12～2月	12月	1月	2月
平均気温平年差 階級	+0.7 高い	+1.1 高い	+0.5 高い	+0.4 平年並
降水量平年比 階級	103% 平年並	103% 平年並	97% 平年並	112% 平年並
日照時間平年比 階級	104% 平年並	109% 多い	108% 多い	96% 平年並
降雪量平年比 階級	43% 少ない	16% かなり少ない	55% 少ない	42% 少ない

北陸地方平均とは、北陸地方にある気象官署及び特別地域気象観測所(9地点)ごとの平年差(比)を平均したものです。

3. 月別の天候経過

(12月)【冬型の気圧配置は長続きせず、高温、多照、かなりの少雪】

数日の周期で低気圧が通過し、低気圧や冬型の気圧配置の影響で曇りや雨の日が多かったが、移動性高気圧に覆われて晴れた日もあった。全般に冬型の気圧配置は長続きせず、中旬に一時冬型の気圧配置が強まって平野部でも積雪となったほかは、降雪量は少なく経過した。また、上旬のはじめと中旬の終わりから下旬のはじめにかけて南から暖かい空気が流れ込んだため、月の気温は高くなった。

(1月)【強い冬型の気圧配置は一時的。高温、多照、少雪】

上旬は、低気圧と高気圧が交互に通過して天気は短い周期で変わった。中旬のはじめ～中頃までは冬型の気圧配置が強まり、山沿いや山地を中心に大雪となった所があった。その後は、低気圧や冬型の気圧配置の影響で曇りや雨または雪の日が多く、22～23日は平野部でも大雪となった所もあったが、高気圧に覆われて晴れ間の出た日もあった。20～21日は発達した低気圧と冬型の気圧配置の影響で福井県や石川県を中心に大荒れの天気となった。上旬と下旬後半は寒気の影響が弱く、冬型の気圧配置が長続きしなかったため、月の気温は高く、日照時間は多く、降雪量は少なくなった。

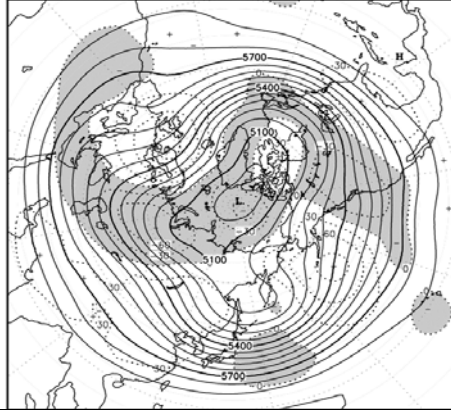
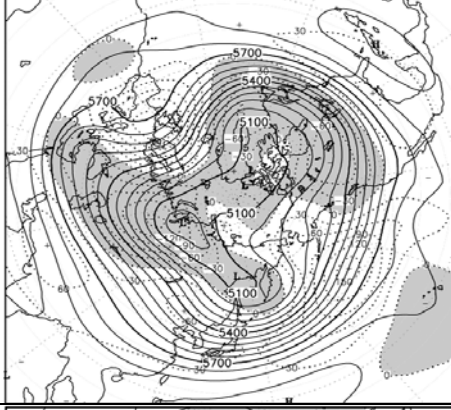
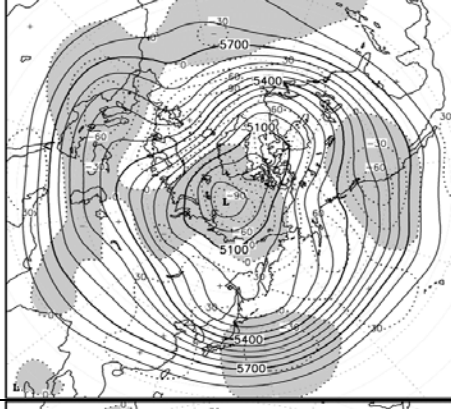
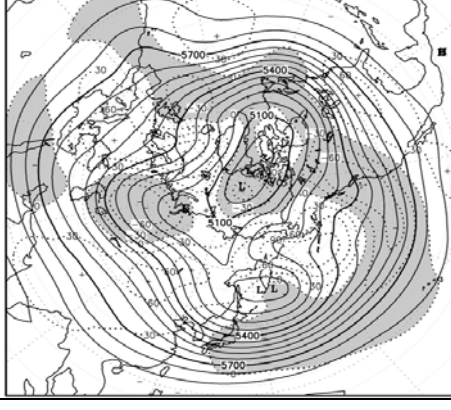
(2月)【福井県を中心に大雪となった日もあったが、強い寒気の南下は一時的。少雪】

低気圧や冬型の気圧配置の影響で曇りや雪または雨の日が多かったが、上旬前半と中旬後半以降は寒気の影響は弱く、冬型の気圧配置は長続きしなかった。上旬後半から中旬前半にかけては、冬型の気圧配置が強まり、西日本を中心に強い寒気が流れ込んだ。このため、福井県を中心に大雪となった所があり、10日は福井県小浜で81センチの積雪差日合計を観測した(年極値)。

(注)ある期間に観測された値の最大値(最高値)または最小値(最低値)を「極値」という。

4. 大気の流れから見た今冬の特徴 (500hPa 高度合成図)

等高度線 (実線) の間隔は 60 m、ハッチ域 (陰影部) は平年より高度が低い部分 (負偏差域)、白抜き域は平年より高度が高い部分 (正偏差域) にそれぞれ対応している。

	<p>12 ~ 2月</p> <p>日本付近の偏西風は、日本の東で南へ蛇行し、強い寒気が南下する時期があった。一方、シベリア上空の偏西風は西シベリアで南へ蛇行し、シベリア付近に暖かい空気が流れ込みやすかったため、寒気の蓄積が弱く、日本付近への寒気の流れ込みは弱かった。</p>
	<p>12月</p> <p>ユーラシア大陸東部から日本付近では高度が高く、日本付近への寒気の南下は弱かった。また、日本の南東海上では高気圧が強く、北日本では寒気の影響を受けた時期もあったが、東日本以西では暖かい空気に覆われやすかった。</p>
	<p>1月</p> <p>偏西風はユーラシア大陸東岸で北に、日本の東で南に蛇行し、日本付近は東谷となった。このため、東・西日本太平洋側では低気圧や前線の影響を受けにくく、晴れの日が多かった。また、中旬から下旬前半にかけては日本付近への寒気の南下が強くなり、中旬は東北地方の日本海側から山陰にかけて、下旬前半は西日本の日本海側を中心に大雪となった。</p>
	<p>2月</p> <p>ベーリング海付近にはブロッキング高気圧()がみられ、日本付近の偏西風は、日本付近から日本の東で大きく南へ蛇行した。このため、上旬後半から中旬前半にかけては西日本中心に強い寒気が南下し、西日本日本海側で記録的な大雪となった。</p> <p>【ブロッキング高気圧】 中・高緯度の上空の偏西風が南北に大きく蛇行する場合に地上では大規模な高気圧が停滞することがある。この高気圧をブロッキング高気圧といい、このような現象をブロッキングという。これが起こると、同じような気象状態が長期間継続して異常気象をもたらすことが知られている。</p>

5 参考資料

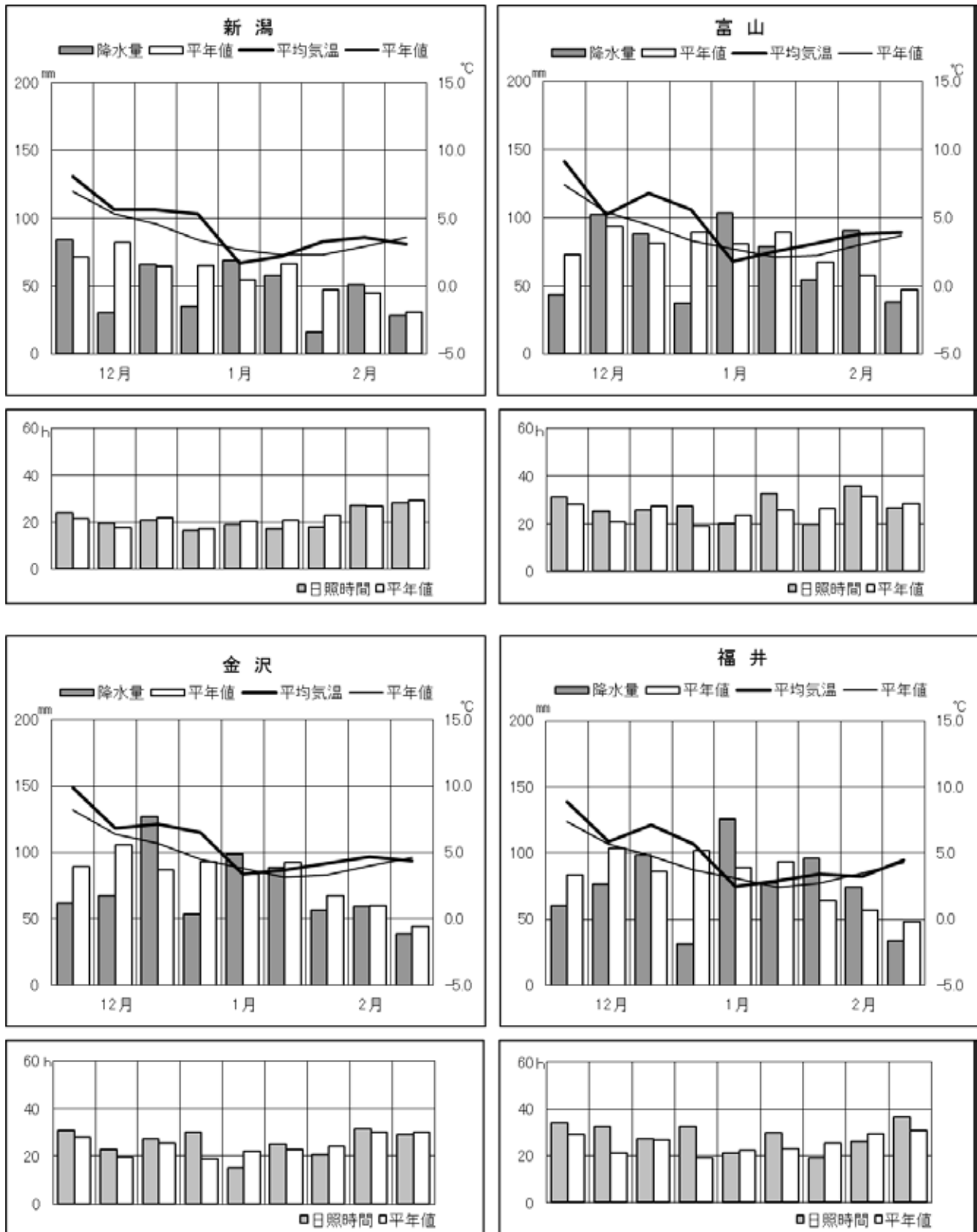


图1 新潟・富山・金沢・福井 旬平均気温・降水量・日照時間時系列

表1 北陸地方における12～2月の平均気温・降水量・日照時間

平均気温	12月		1月		2月		3か月平均	
	実況値	平年差 (階級)	実況値	平年差 (階級)	実況値	平年差 (階級)	実況値	平年差 (階級)
新潟	6.4	+0.8 (+)	3.1	+0.3 (0)	3.3	+0.4 (0)	4.3	+0.6 (+)
高田	6.4	+1.1 (+)	2.9	+0.5 (+)	3.1	+0.7 (+)	4.1	+0.8 (+)
相川	8.0	+1.1 (+*)	4.5	+0.6 (+)	4.5	+0.7 (+)	5.7	+0.9 (+)
富山	7.0	+1.3 (+*)	3.3	+0.6 (+)	3.6	+0.6 (+)	4.6	+0.9 (+)
伏木	6.7	+1.0 (+)	3.0	+0.3 (0)	3.2	+0.2 (0)	4.3	+0.5 (+)
金沢	7.9	+1.2 (+)	4.5	+0.7 (+)	4.4	+0.5 (0)	5.6	+0.8 (+)
輪島	6.8	+0.8 (+)	3.8	+0.7 (+)	3.6	+0.5 (0)	4.7	+0.7 (+)
福井	7.3	+1.4 (+*)	3.7	+0.7 (+)	3.6	+0.2 (0)	4.9	+0.8 (+)
敦賀	8.5	+1.1 (+)	4.8	+0.3 (+)	4.7	0.0 (0)	6.0	+0.5 (+)
北陸平均		+1.1 (+)		+0.5 (+)		+0.4 (0)		+0.7 (+)

降水量	12月		1月		2月		3か月合計	
	実況値 mm	平年比 % (階級)	実況値 mm	平年比 % (階級)	実況値 mm	平年比 % (階級)	実況値 mm	平年比 % (階級)
新潟	179.5	83 (0)	161.0	87 (-)	95.0	78 (-)	435.5	83 (-)
高田	421.5	100 (0)	553.0	132 (+*)	249.0	95 (0)	1223.5	111 (+)
相川	240.0	160 (+*)	152.0	119 (+)	107.0	117 (+)	499.0	136 (+*)
富山	233.5	95 (0)	219.5	85 (-)	183.0	106 (0)	636.0	94 (-)
伏木	208.5	78 (0)	213.0	80 (-)	159.5	97 (0)	581.0	84 (-)
金沢	256.0	91 (0)	240.5	89 (-)	154.0	90 (0)	650.5	90 (-)
輪島	308.5	122 (+)	213.0	100 (0)	179.5	127 (+)	701.0	115 (+)
福井	235.0	86 (0)	233.5	82 (-)	204.0	120 (+)	672.5	92 (0)
敦賀	305.0	108 (0)	274.0	102 (0)	304.5	182 (+*)	883.5	122 (+)
北陸平均		103 (0)		97 (0)		112 (0)		103 (0)

日照時間	12月		1月		2月		3か月合計	
	実況値 h	平年比 % (階級)	実況値 h	平年比 % (階級)	実況値 h	平年比 % (階級)	実況値 h	平年比 % (階級)
新潟	64.4	106 (0)	52.5	90 (-)	72.9	93 (0)	189.8	96 (0)
高田	78.1	98 (0)	57.5	88 (-)	78.0	98 (0)	213.6	95 (-)
相川	55.8	104 (0)	46.8	94 (0)	55.1	81 (-)	157.7	92 (-)
富山	82.3	109 (+)	80.0	117 (+*)	82.4	95 (0)	244.7	107 (+)
伏木	76.4	109 (0)	69.4	114 (+)	79.4	98 (0)	225.2	107 (0)
金沢	80.6	111 (+)	70.3	111 (+)	81.2	97 (0)	232.1	106 (0)
輪島	53.0	103 (0)	49.6	115 (+)	70.1	109 (0)	172.7	109 (+)
福井	93.6	122 (+)	83.5	130 (+*)	81.7	96 (0)	258.8	115 (+)
敦賀	90.3	117 (+)	69.1	111 (+)	73.9	97 (0)	233.3	109 (+)
北陸平均		109 (+)		108 (+)		96 (0)		104 (0)

注1) 平年値は1981～2010年の資料から求めています。

注2) 階級欄の符号は、以下の事を示します。

(-) : 低い(少ない), (0) : 平年並, (+) : 高い(多い)

(-*) : かなり低い(かなり少ない), (+*) : かなり高い(かなり多い)

注3) 値の横に「や」がある場合には使用したデータに欠測等が含まれていることを示し、×は欠測を示します。

「)」付きの値は正常の値とみなせますが、「)」付きの値は欠測等が多いため正常な値と同等とはみなせません。

このため、統計日数(統計に用いた品質が十分な日数)を気象台等に確認して、品質を確かめてください。

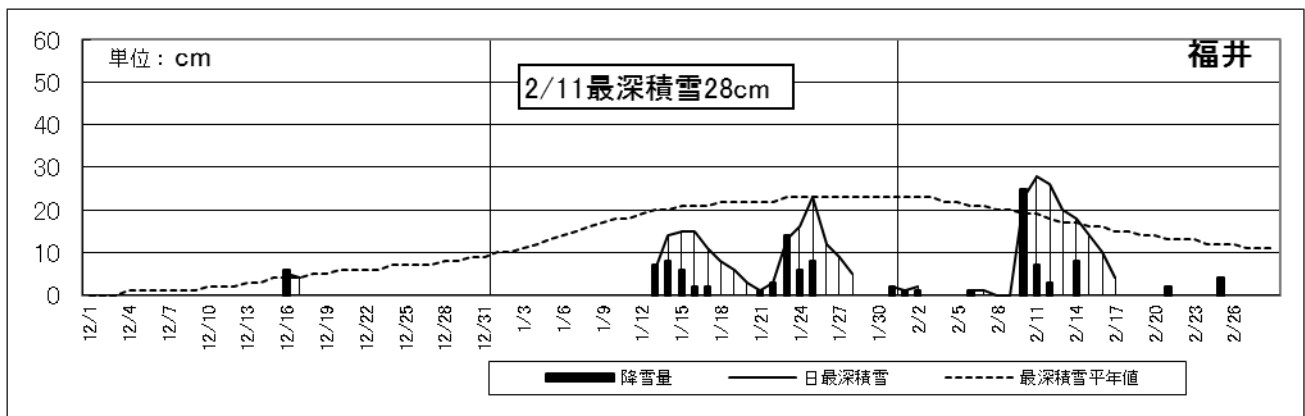
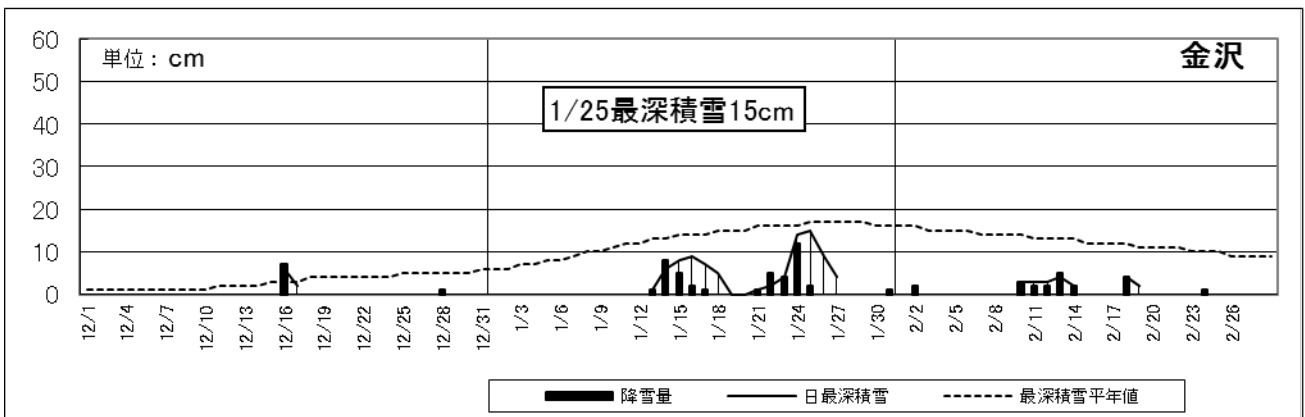
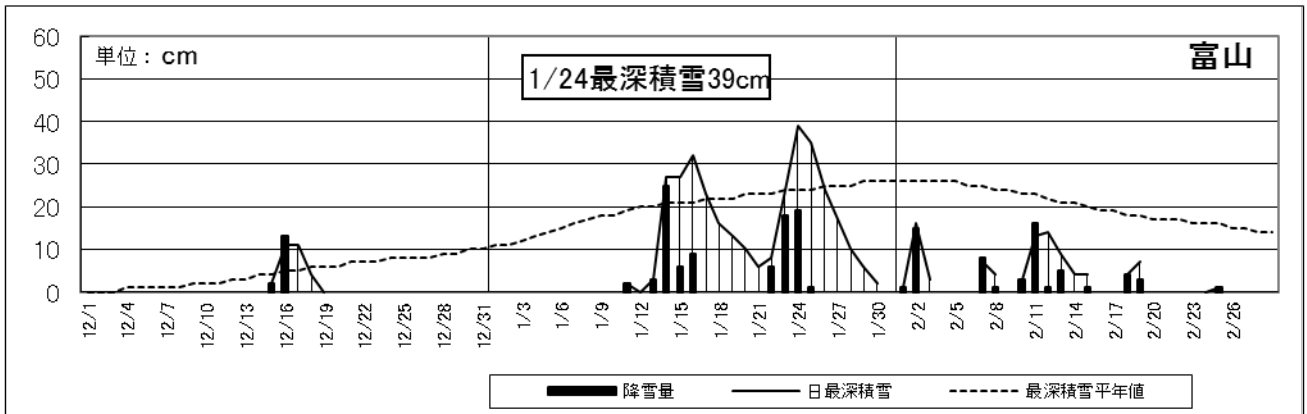
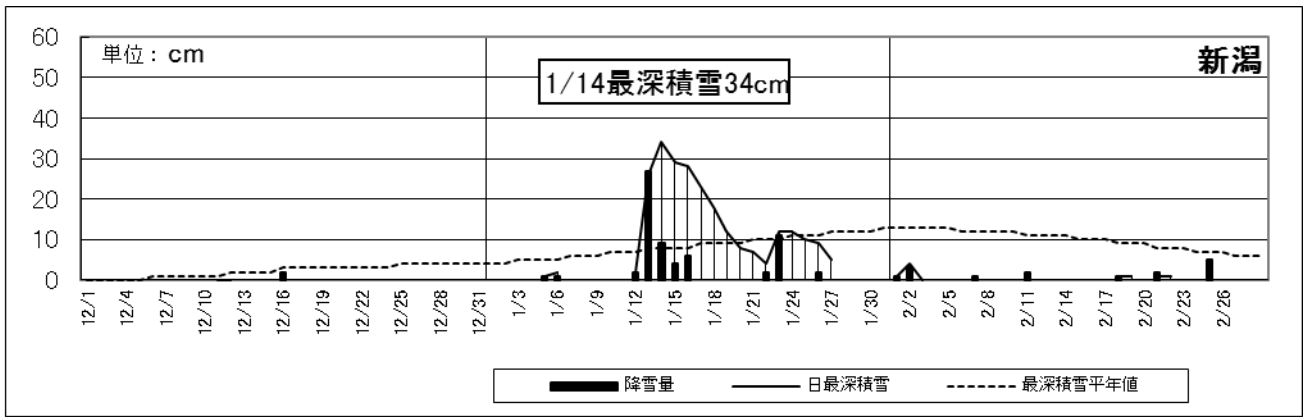


図2 日降雪量・日最深積雪時系列（新潟・富山・金沢・福井）

表2 北陸地方における12～2月の冬日日数・真冬日・雪日数

	冬 日						真冬日		雪 日 数 (日)					
	12月		1月		2月		12～2月		12月		1月		2月	
	実況値	平年値	実況値	平年値	実況値	平年値	実況値	平年値	実況値	平年値	実況値	平年値	実況値	平年値
新潟	1	3.5	12	14.0	10	14.1	0	1.1	11	13.3	21	22.9	20	20.2
高田	3	6.5	16	18.7	15	19.0	0	1.0	16	-	25	-	25	-
相川	0	2.2	6	9.4	7	10.8	0	0.7	16	-	23	-	23	-
富山	3	4.8	10	15.6	15	16.5	0	1.2	10	9.7	17	19.1	20	16.1
伏木	3	4.7	16	15.2	13	15.7	1	1.3	13	9.2	22	17.9	24	15.3
金沢	0	2.1	7	9.9	9	10.9	0	0.3	8	9.8	17	19.1	20	16.0
輪島	1	4.3	13	14.5	13	16.9	0	0.8	17	-	23	-	24	-
福井	2	3.5	12	12.8	12	14.6	0	0.3	8	9.0	15	18.6	17	15.7
敦賀	0	1.1	7	6.8	4	6.7	0	0.0	9	-	18	-	19	-

高田・相川・輪島・敦賀の雪日数平年値は、特別地域気象観測所化(無人化)により統計がない。

冬日とは、日最低気温が0 未満の日。真冬日とは、日最高気温が0 未満の日。

表3 北陸地方における12～2月の降雪量・最深積雪

降雪量	12月		1月		2月		12～2月	
	実況値 (c m)	平年比% 階級	実況値 (c m)	平年比% 階級	実況値 (c m)	平年比% 階級	実況値 (c m)	平年比% 階級
新潟	2	7(-)	65	71(0)	15	21(-*)	82	42(-)
高田	26	28(-)	121	49(-)	83	43(-)	230	43(-*)
相川	-	0(-*)	40	83(0)	3	7(-*)	43	40(-)
富山	15	26(-)	89	56(-)	59	47(-)	163	47(-)
伏木	2	4(-*)	92	61(-)	53	50(-)	147	47(-)
金沢	8	22(-)	42	35(-)	21	23(-)	71	28(-*)
輪島	11	41(0)	34	40(-)	24	34(-)	69	38(-*)
福井	6	14(-)	59	48(-)	52	57(-)	117	45(-*)
敦賀	-	0(-*)	47	49(-)	69	99(0)	116	57(-)
北陸平均		16(-*)		55(-)		42(-)		43(-)

最深積雪	12月		1月		2月		12～2月	
	実況値 (c m)	平年比% 階級	実況値 (c m)	平年比% 階級	実況値 (c m)	平年比% 階級	実況値 (c m)	平年比% 階級
新潟	1	10(-*)	34	131(+)	5	18(-*)	34	100(0)
高田	20	50(-)	70	71(0)	45	39(-)	70	58(-)
相川	-	0(-*)	20	167(+)	1	8(-*)	20	111(0)
富山	11	48(0)	39	76(0)	16	32(-)	39	63(-)
伏木	2	9(-*)	42	82(0)	13	31(-)	42	71(0)
金沢	6	43(0)	15	38(-)	4	13(-*)	15	35(-)
輪島	9	113(+)	16	64(-)	9	36(-)	16	50(-)
福井	5	28(-)	23	50(0)	28	72(0)	28	51(-)
敦賀	-	0(-*)	22	61(0)	58	176(+)	58	116(+)

注1) 平年値は1981～2010年の資料から求めています。

注2) 階級欄の符号は、以下の事を示します。

(-) :低い(少ない), (0) :平年並, (+) :高い(多い)

(-*) :かなり低い(かなり少ない), (+*) :かなり高い(かなり多い)

注3) 値の横に「や」がある場合には使用したデータに欠測が含まれていることを示し、×は欠測を示します。

)付きの値は正常の値とみなせますが、]付きの値は欠測等が多いため正常な値と同等とはみなせません。

このため、統計日数(統計に用いた品質が十分な日数)を気象台等に確認して、品質を確かめてください。

表4 北陸地方における12～2月の累年極値・順位（3位以内）更新

なし

表5 初冠雪

山岳名	観測気象官署	今年	昨年	平年	これまでの最早
立山	富山地方気象台	11. 2	10.12	10. 8	1981. 9.14
白山	金沢地方気象台	11. 2	10.14	10.17	1913. 9. 1

表6 初霜・初氷・初雪

		初霜			初氷			初雪		
		今年	昨年	平年	今年	昨年	平年	今年	昨年	平年
新潟県	新潟	11.25	12.23	11.25	11.18	12.27	12. 1	12. 6	12.17	11.24
富山県	富山	11.18	12. 2	11.20	12.12	12. 2	11.27	12.10	11.27	12. 2
石川県	金沢	12.12	12. 2	12. 1	12.12	12.20	12. 9	12.10	12.17	11.29
福井県	福井	11.30	12. 2	11.24	12.12	12. 2	12. 2	12.14	12. 4	12. 2

6 . 天候情報発表状況

なし

（注）この季節のまとめは、北陸地方の気象官署および特別地域気象観測所における気象観測値等をまとめたものです。なお、資料は速報値であり後日の調査で修正されることがあります。